

2022年12月16日に開催された2022年度第6回理事会（臨時）の概要をお知らせします。

### <決議事項>

#### ●利益相反取引について

会長候補者の利益相反取引状況について、利益相反取引に該当する取引について許容できる範囲であるか賛否を諮ったところ、承認可決された。

会長候補者の推薦については、理事および会長選定委員宛てに依頼を行ない、推薦募集の受付を12月11日に締め切らせて頂いた。その後、選定事務局宛てに推薦された候補者の、「兼職届」、「役員等選定における利益相反確認書」を基に、12月15日に開催されたコンプライアンス委員会にて、利益相反該当取引についてのチェックが行われた。その中で委員会より指摘があった部分を、理事会にて審議することとなった。

#### ●理事会推薦の会長候補者決定について

上記の利益相反取引の確認が取られた後、理事会推薦の次期会長候補者としての賛否を諮り、承認可決された。

なお、本日の決定を受けて、この後は会長候補者選定委員会での審議に入る。今後の改選プロセスについて情報共有された。

- ・12月20日～ 会長候補者選定委員会開催／会長候補者選定
- ・1月19日 定例理事会／評議員に上程するための会長候補者の議決
- ・1月20日 評議員懇談会／会長選定における経緯説明
- ・2月7日 臨時評議員会／会長候補者内定決議

※正式就任については、6月15日の定時評議員会の翌日、6月16日に開催予定の新体制による臨時理事会での承認後となる。

### <報告事項>

#### ●次回理事候補者選定の資料提出における変更点について

##### ①個人情報の提出方法の変更

今回、会長候補者推薦手続きを進めていく中で、改善すべき点が出て参りましたので次回2月に開始予定の理事候補者推薦に備えて、一部提出方法を訂正させていただきたく。

先般の会長推薦に際しまして、①推薦書②誓約書③兼職届④利益相反確認書の4点を推薦者が取り纏めて提出するかたちを取っていたが、誓約書、兼職届、利益相反確認書は、重要な個人情報につき、推薦者を介さずに直接、候補者ご本人より選定事務局に提出する方が望ましいという声があがった。

それを受け、次回 2 月に理事候補者を推薦される際は、推薦者が提出する書類は推薦書のみとし、残りの個人情報資料を、直接候補者ご本人より、選定事務局宛てのメールアドレスにご提出いただく流れとする。

### ②役員等選定における利益相反確認書の修正

提出資料の一つである利益相反確認書についても、若干変更させていただきたく。

候補者本人は兼職届をご提出いただくことから、確認書の項目①は過去のご所属のみとし、現職は兼職届を参照することとしていたが、④の質問で前段①～③を参照するにも関わらず、除外した兼職届の内容を加える記載が抜けていた。そのため現在の兼職の法人等の JVA との取引有無を記載せずに済むことになってしまうため、候補者本人以外の確認書の内容とあわせるよう、「前述①～③及び兼職届に記載の法人等が JVA と取引関係を有する」という内容に変更させていただく。

※なお、複数の理事・監事より、利益相反確認項目の調査内容・条件が厳しいため、次の理事会まで、再度見直しを検討するよう求める意見があった。

### ③重任理事候補者の活動報告の提出依頼

これまでの評議員会・選定員会内の議論では、理事の活動報告がないため、推薦書だけでは、選任する際の判断が難しいという声があがっていた。

その為、2019 年改選時には評議員の皆様より、重任理事の活動報告シートの提出依頼を受け、[出席率／発言頻度／兼務状況／前期の JVA での役職担当／理事としての活動状況]を記載した資料を作成して評議員会に提出していた。

2021 年の改選時には直接評議員会より重任理事候補者の皆様宛てに「役員候補者の意向調査」の依頼があり、[日本のバレーボールの現状に関してや、役員に就任された際の抱負]を記載いただいた過去の経緯があった。

過去の経緯を踏まえて、今回は重任理事候補者の活動報告書として、就任期の主な活動内容を上期・下期にわけて記載いただき、理事候補者選定委員会・理事会・評議員会までの選定における補足資料として提出したいと考えている。本資料は自薦・他薦問わず、重任の理事候補者に該当される方は追加でこちらの資料提出をお願いしたい。

具体的には理事の皆様には就任中の会議での発言によるご指導や、プロジェクトメンバーや委員会等での活動をこの様式を使って報告いただきたい。

### ●クレド策定および公表について

川合会長就任前後に様々な不祥事が起こり、加盟団体も含めて派生している状況を鑑みて、JVA 事務局のマーケティング戦略推進部を中心に、クレド（行動規範）を制定してはどうかという動きがあった。夏に職員アンケートから始まり、プロジェクトメンバーによる精査を重ねて完成した。川合会長が就任されて初めての年越しとなる新年の最初に、「JAPAN バレーボール WAY」として全バレーボール界に向けて発信するが、1月1日の発表を前に紹介させていただく。

また JVA のブランディングの再構築にも着手し、まずはこれまでの 2015 宣言をブラッシュアップした「JAPAN バレーボール宣言」が完成し、1月1日にクレドと併せて発表予定である。

以上